

ポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



本機は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と
製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよく
お読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みにな
ったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してく
ださい。



MV-65ST



安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 運転中に画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、シガーライター用電源コードに異常がないか、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやシガーライター用電源コードやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 安全な場所に車を止める
- 電源を切る
ACパワーアダプターやシガーライター用電源コードを抜く
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車や周辺の家財に損害を与えたことがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

目次

警告・注意	4
電池についての安全上のご注意	6
主な特長	7
この取扱説明書の使いかた	7
再生できるディスクについて	8
接続する	11
各部のなまえ	14

DVD/ビデオCD/音楽用CD

ディスクを再生する	16
経過時間を見る	20
字幕を表示する	21
DVDのメニューを使う	22
音声言語を切り換える	23
アングルを切り換える	24
音声の出力方法を切り換える	25
プレイバックコントロール機能を使う(PBC再生)	26

設定と調整

システムを設定する	
(システムメニュー)	27
DVD再生時の設定をする	
(DVD設定メニュー)	29
スピーカー出力のダウンミックス	
を設定する(スピーカーメニュー) ..	32
音声のデジタル出力方式を設定する	
(音声メニュー)	32
映像出力信号のカラー方式を設定する	
(ビデオメニュー)	33
外部機器からの映像を見る	33
入力信号のカラー方式を切り換える ..	34
モニター部のメニューで設定する ..	34
画像の上下を反転させる	37
音量の基準値を設定する	37
使用上のご注意	38
故障かな?	42
保証書とアフターサービス	45
主な仕様	46
言語コード一覧表	47



警告



火災



感電

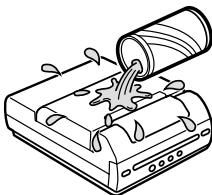
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



本体やACパワーアダプターを布団などで覆った状態にしない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。



禁止



指定以外のACパワーアダプター、シガーライター用電源コードを使わない

- 付属のACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vでお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因になります。



指示



ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因になります。



接触禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示

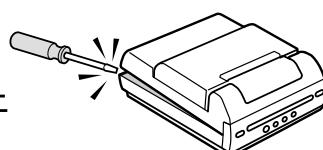
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはされ、けがの原因となることがあります。



通電中のACパワーアダプターや製品に長時間触れない
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

⚠ 警告

- ・電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- ・電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ・乳幼児の手の届かないところに置く。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- ・火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- ・電池の(+)と(-)を正しく入れる。
- ・ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- ・電池は充電しない。
- ・電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- ・電池に直接はんだ付けをしない。
- ・保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子(金属部分)を絶縁する。
- ・皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠ 注意

- ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたる、変形させない。
- ・直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- ・電池を水などで濡らさない。

ACパワーアダプター使用上のご注意

- ・ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ・ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
 - － ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
 - － 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。

主な特長

- DVD/ビデオCD/音楽用CD再生対応
- DTS/Dolby Digital対応 光デジタル音声出力端子装備
- MP3ファイル/JPEGファイル再生対応
(CD-ROM/CD-R/CD-RW)

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、カードリモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。カードリモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
 DVD	DVDで使える機能
 VCD	ビデオCD/ビデオCDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
 CD	音楽用CD/音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
 MP3	CD-ROM/CD-R/CD-RWのMP3ファイルで使える機能
 JPEG	CD-ROM/CD-R/CD-RWのJPEGファイルで使える機能

再生できるディスクについて

本機では、以下のディスクを再生できます。

- | | |
|---------|--------------|
| • DVD | • CD-R/CD-RW |
| • ビデオCD | • DVD-R |
| • 音楽用CD | • DVD-RW |

ディスクの種類 ディスクのラベル

DVD



ビデオCD



音楽用CD



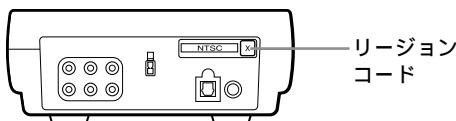
CD-R/CD-RW
(MP3)



“DVD VIDEO”ロゴは商標です。

再生可能なDVDの地域番号 (リージョンコード)について

DVDには¹のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」か「ALL」が含まれていない、または²や³の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「リージョンエラー」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。



ご注意

- 本機はNTSC/PALカラーテレビ方式に対応しています。それ以外のカラーテレビ方式対応のディスクは再生できません。
- お客様が編集されたCD-R/CD-RWやDVD-R/DVD-RWは、書き込みに使用したレコーダーやディスクの状態によって再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。
- 本機で次のディスクを再生することはできません。
 - DVD-Audio
 - DVD-RAM
 - DVD-ROM
 - SVCD
 - CD-I
 - CD-G
 - Active Audioのデータ部分
 - Photo CD
 - VSD(ビデオシングルディスク)
 - CD-Extraのデータ部分
 - Mixed CDのデータ部分
 - MP3、JPEG以外のデータのCD-ROM
 - マルチセッションで記録されたディスク
 - VRモードで記録されたDVD-RW

著作権について

- ・本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ・ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルピー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTSで記録されたCDについてのご注意

DTS*で記録されたCDを再生するとスピーカーから大きな音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。DVDプレーヤーの光出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround®での再生をお楽しみいただくには、DVDプレーヤーのデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround®デコーダーを接続する必要があります。

- * Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital Surround、DTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の登録商標です。



[次のページへつづく](#)

著作権保護技術対応音楽ディスクについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合もあります。

プレイバックコントロール(PBC)について

本機は、PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)にも対応しています。(PBCとは、Playback Controlの略です。)

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

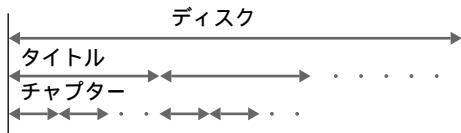
ディスクのタイプ 楽しみかた

PBC対応でない 音楽用CDと同じように
ビデオCD 操作して、音声と映像
(バージョン1.1) (動画)を再生できます。

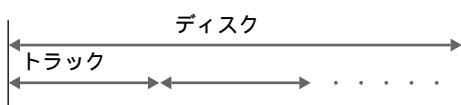
PBC対応ビデオCD 上記(PBC対応でない場
(バージョン2.0) 合)の楽しみかたに加え
て、テレビ画面に表示さ
れるメニュー画面(選択
画面)を使って、対話型
のソフトや検索機能のあ
るソフトを再生できます
(PBC再生、26ペー
ジ)。また、高精細の静
止画も再生できます。

ディスクに関する用語の説明

DVD



ビデオCD/音楽用CD



- タイトル

DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

- チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

- トラック

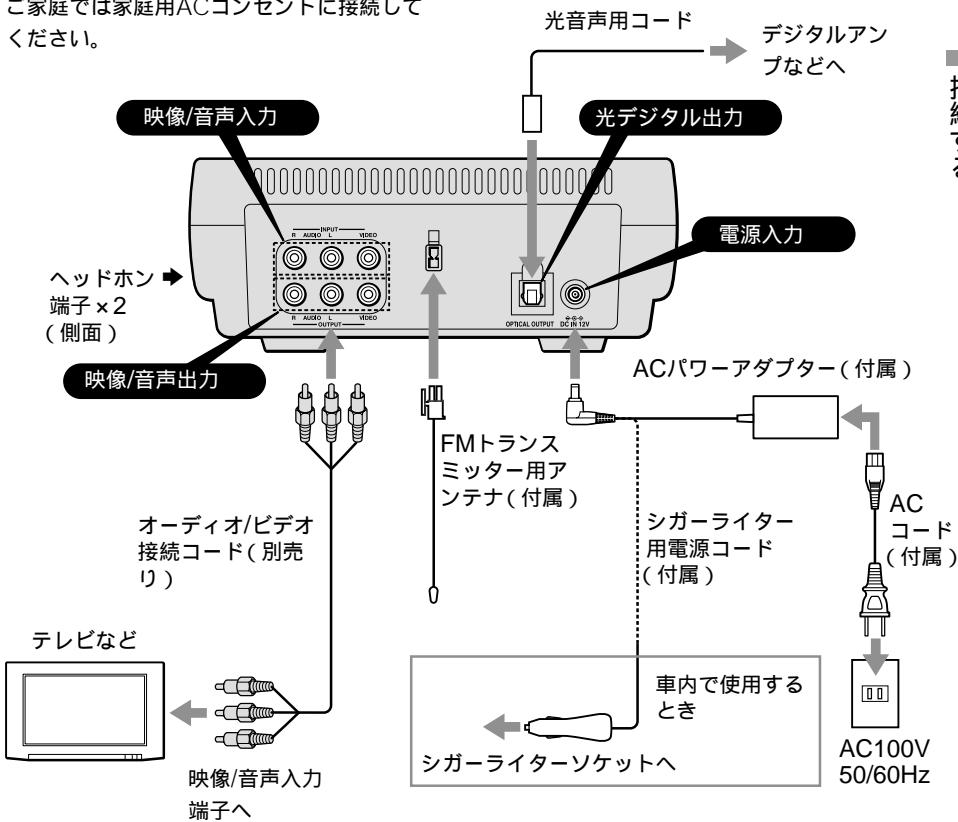
ビデオCDや音楽用CDに記録されている映像や曲の区切り(1曲分)をトラックといいます。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。

- シーン

PBC(プレイバックコントロール)対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンといいます。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号といいます。

接続する

本機には2種類の電源コードが付属されています。車内ではシガーライターソケットに、ご家庭では家庭用ACコンセントに接続してください。



映像/音声出力端子について

本機の再生内容を家庭の大型テレビなどで楽しむときに接続します。黄色のプラグは映像端子に、白のプラグはL(左)音声端子に、赤のプラグはR(右)音声端子に接続してください。

映像/音声入力端子について

ビデオデッキなど外部機器の再生内容を本機で楽しむことができます。接続方法は、映像/入力端子と同じです。

ご注意

- 本機を他の機器に接続するときは、必ず電源を最後に接続してください。
- シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接触不良を起こし、シガープラグ部分が熱くなります。お使いになる前に、必ず点検、清掃をしてください。
- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

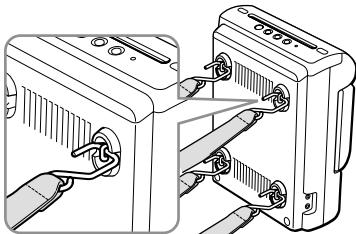


極性統一形プラグ

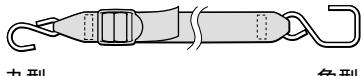
車内に取り付ける

本機は車の中に固定してお使いいただくことができます。

1 本機の取り付け金具(4か所)に、ベルトの角型フックを掛ける



車側へ



本機側へ

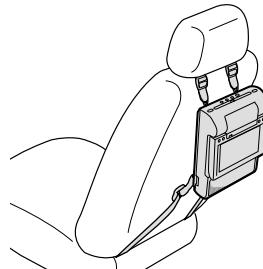


2 車側にベルトの反対側の丸型フックを固定する

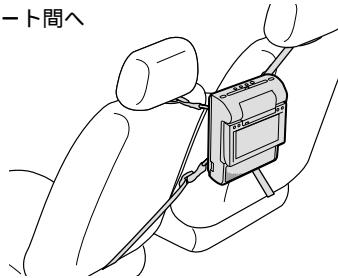
シートレールやヘッドレストの支柱など丈夫な場所に確実に固定してください。また、センターコンソールに取り付ける場合は、コンソール下部の角にしっかりと固定してください。

3 ベルトをしっかりと締めて、本機を固定する

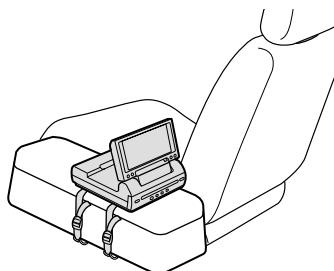
シートバックへ



シート間へ



センターコンソールへ



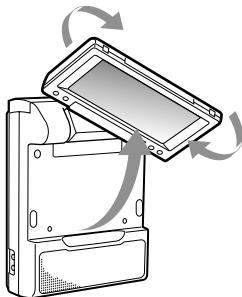
センターコンソールに取り付けたときは

- 走行中に振動で映像が乱れたり、音とびする場合は、本機の下側にクッション材を敷いてください。
- センターコンソールと本機の間に隙間が生じる場合は、適当な厚みのスペーサーなどを入れて固定してください。

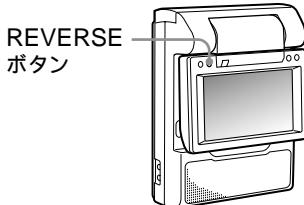
シートバックやシート間に取り付けた場合は

モニター部の上下が逆になるため、画像と音声を反転させ、本機を取り付けた状態でDVDなどが観賞できるようにします。

1 モニターを立てて、方向を180°回転させて、元の位置に倒す



2 電源を入れてから、REVERSEボタンを押す



元の状態に戻すには、REVERSEボタンをもう一度押します。

まず、本機をリセットする

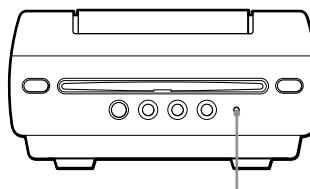
初めて使うときは、リセットボタンを押す必要があります。

リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。

ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

ご注意

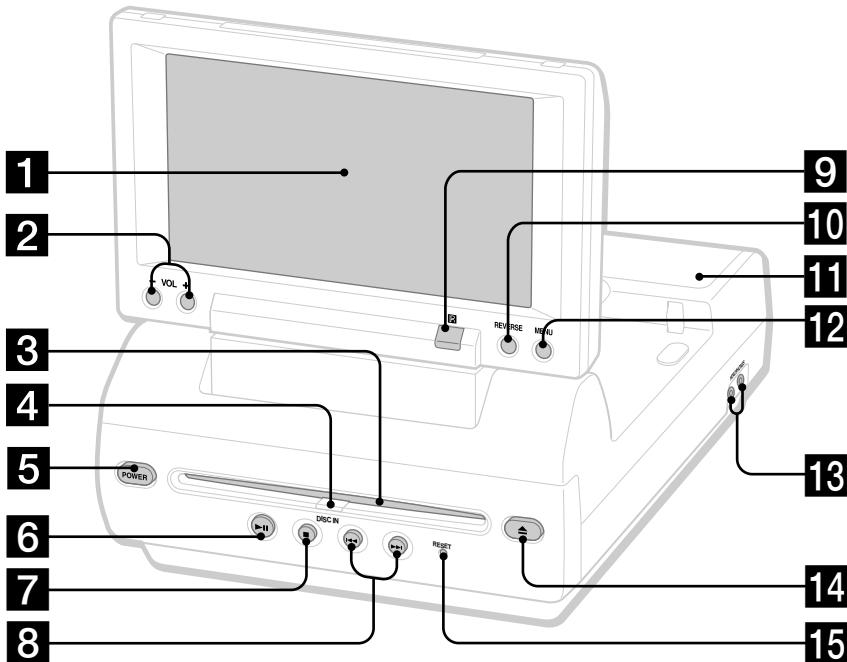
- リセットボタンを押すと、設定などの内容が消えことがあります。その場合は設定し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にディスクを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はディスクを入れないでください。



リセットボタン

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



1 モニター

ボリューム **2 VOL**(音量調整)ボタン **16 34**

メニュー内の項目を選ぶ場合にも使います。

3 ディスク挿入口

ディスクイン

4 DISC INランプ

本機にディスクが入っているときは
DISC INランプがオレンジ色に点灯しま
す。

5 POWER(電源入/切)ボタン **16 18**

6 ▶/II(再生/一時停止)ボタン **16 17 18 26**

7 ■(停止)ボタン **16 17**

8 ▲/▼(スキャン)ボタン **16 17 26**

9 リモコン受光部

リバース **10 REVERSE**ボタン **13 37**

画面と音声を反転させることができます。

11 スピーカー

スピーカー **12 MENU**ボタン **34**

モニターやトランスマッターの設定を行
います。

13 PHONESジャック

2本のヘッドホンを接続することができ
ます。

14 ▲(イジェクト)ボタン **16 17**

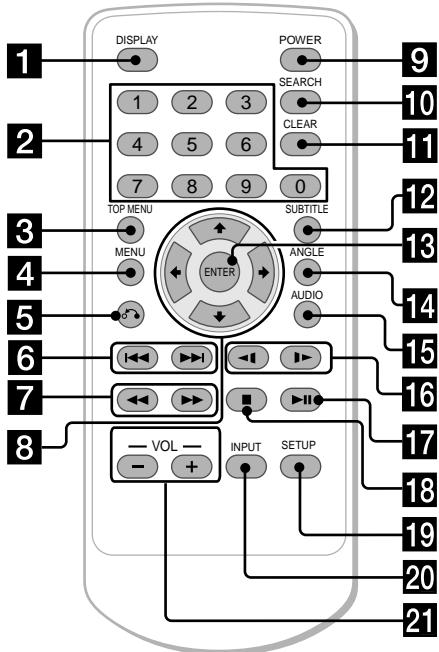
本機の電源を切っていても、ディスクを
取り出すことができます。

15 RESETボタン **13**

ちょっと一言

POWERボタンを押して電源が切れている状態で
も、▲ボタンを押すとディスクを取り出することができますが、ディスクを入れるときは、電源を入れて
から行ってください。

カードリモコン RM-X137



各部のなまえ

10 SEARCHボタン ⑯

見たいチャプターやタイトル、トラックなどを探します。

11 CLEARボタン

クリア
サブタイトル

12 SUBTITLEボタン ㉑

DVD再生中に字幕言語を切り替えます。

13 ENTERボタン ⑯㉑

設定メニューで選んだ項目を決定します。

14 ANGLEボタン ㉔

DVDの再生中にアングルを切り替えます。

15 AUDIOボタン ㉕

音声の出力方法や言語を切り替えます。

16 ◀/▶ (スロー)ボタン ⑯

17 ▶▷ (再生/一時停止)ボタン ⑯⑰⑯⑯㉖㉖

18 ■ (停止)ボタン ⑯⑰

セットアップ

19 SETUPボタン ㉗

設定メニューを表示または終了します。

20 INPUT (入力切り換え)ボタン ㉓

インプット
ボリューム

21 VOL - / + (音量調整)ボタン ⑯㉔

1 DISPLAYボタン ㉐

経過時間表示など、表示を切り替えます。

2 数字(0~9)ボタン ⑯⑰㉖㉖㉖

トップメニュー

3 TOP MENUボタン ㉒

DVDのタイトルメニューを表示します。

4 MENUボタン ㉒㉖

DVDメニューを表示したり、ビデオCDのPBC(プレイバックコントロール機能)入/切を設定します。

5 ⏪ (リターン)ボタン ㉖

6 ▲◀/▶▷▼ボタン ⑯⑰㉖㉖

7 ▲◀/▶▷ボタン ⑯

8 カーソル↑/→/↓/←ボタン ⑯⑰㉖㉖

パワー

9 POWER(電源入/切)ボタン ⑯⑯

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(38ページ)をご覧ください。

ディスクを再生する

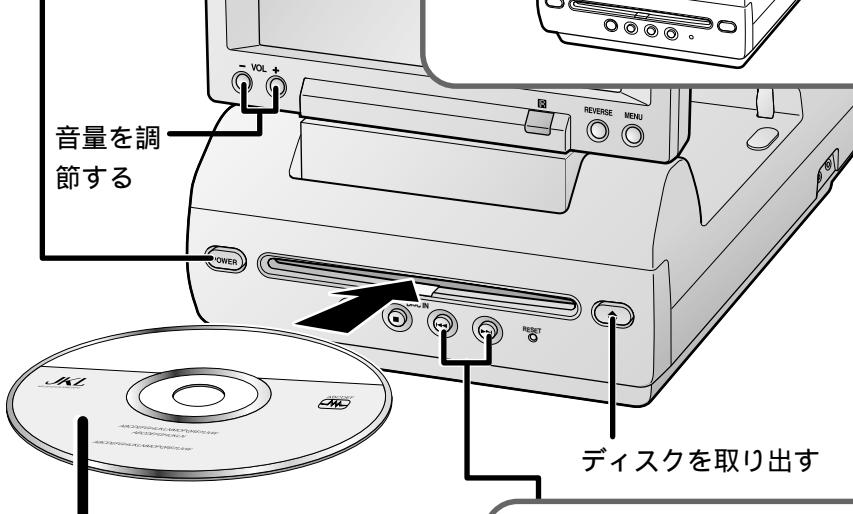
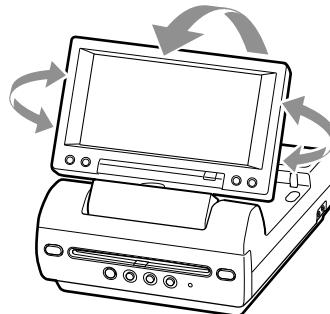
DVD VCD CD MP3 JPEG

2 電源を入れる

POWERボタンの緑色のランプが点灯します。

音量を調節する

1 モニターを立てて、角度と方向を決める



3 ディスクを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。*

ディスクを取り出す

チャプター、トラック、シーンをさがす



- * すでにディスクが入っている場合は、▶||ボタンを押して再生を始めます。また、ディスクを入れても再生が始まらない場合も、同様に▶||ボタンを押してください。

止めるには

■ボタンまたは▶||ボタン(一時停止)を押します。

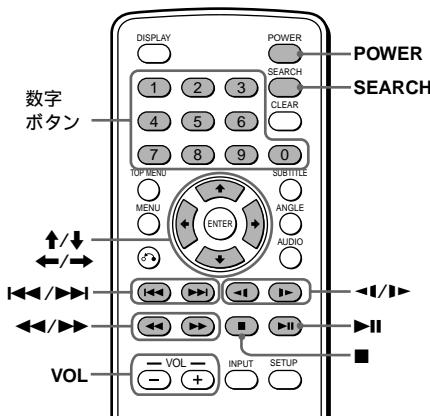
電源を切るには

本体のPOWERボタンを押して、緑色のランプを消します。

使い終わったら

電源を切り、ACパワーアダプターやシガーライター用電源コードを抜いてください。

いろいろな操作方法



こんなときは こうする

途中で止める ■ボタンを押す*1

ディスクを取り出す ▲ボタンを押す

一時停止する ▶/▶ボタンを押す*2
もう一度押すと再生
が始まります。

再生中にチャプター
や映像、曲を進める ▶/▶ボタンを押す

再生中にチャプター
や映像、曲を戻す ▲▲ボタンを押す
再生中に▶/▶または
◀/◀ボタンを押す*3*4
続けて押すと再生ス
ピードが、2 4 8
16 32 通常再生
と切り換わります。

スロー再生(送る)
(DVD/ビデオCDのみ)ボタンを押す*4

スロー再生(戻す)
(DVDのみ) 続けて押すと再生ス
ピードが、1/2 1/4
1/8 1/16 1/32
通常再生と切り換
わります。

*1 つづき再生機能が働いているときに▶/▶ボタンを
押すと、再生を止めたところから再生します
(18ページ)

*2 DVD/ビデオCD/音楽用CD/MP3
一時停止中は画面に「▶/▶」が表示されます。

*3 DVD/ビデオCD/音楽用CD/MP3
早送り/早戻し中やスロー再生時は音声は出力
されません。
*4 DVD以外のディスクの場合、曲が終わると通常
再生に戻ります。

ご注意

- 電源を切っていても、▲ボタンを押すとディスク
を取り出すことができますが、ディスクを入れる
ときは、電源を入れてから行ってください。
- 再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 8cmCDは挿入口の中央部分から入れてください。
- ディスクの記録状態によっては、再生が始まるま
でに時間がかかることがあります。
- ディスクによっては、再生できないことがあります
(39ページ)。
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されてい
るMP3ファイル再生時には、正しく再生されな
いことがあります。

D
V
D
/
ビ
デ
オ
C
D
/
音
楽
用
C
D

電源を切る

POWERボタンを押して電源を切
る。

使い終わったら、電源を切ったあと、
ACパワーアダプターやシガーライター
用電源を抜いてください。

見たい場面をさがす (チャプター/タイトル/トラック)

- 1 再生中または一時停止中にSEARCHボタンを押して、サーチ画面を表示する。
 - DVD*¹
SEARCHボタンを押すごとに、タイムサーチ→タイトル選択→OFFと画面が切り換わります。
タイトル選択画面で \leftarrow/\rightarrow ボタンを押すと、チャプター選択画面とタイトル選択画面を切り換えることができます。
 - ビデオCD(PBC機能がOFFに設定されているときのみ)/音楽用CD*²
タイムサーチとトラックサーチ画面が表示されます。

- 2 数字ボタンを押して、タイムまたはタイトル/チャプター、トラック番号を入力する。

タイムサーチ時

タイトル/チャプター選択時

- 3 ENTERボタンを押す。

*¹ 停止中でもサーチができます。

*² リモコンの数字ボタンでトラック番号が選べます。

ご注意

数字ボタンの「0」は選べません。

再生を止めたところから再生する(つづき再生機能)

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。

- 1 再生中に■ボタンを押して再生を止める。

再生を停止した場所を記憶します。

- DVD/ビデオCD/音楽用CD
「次回続きから再生します」が表示されます。

- 2 ▶IIボタンを押す。

「続きから再生」と表示され、手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

- MP3
MP3ファイルの場合は、その曲の最初から再生が始まります。

ご注意

- つづき再生機能を解除するには、再生停止中に■ボタンを押します。「停止」が表示されます。
- ディスクを取り出しても、つづき再生は解除されます。
- POWERボタンを押して電源を切ったり、エンジンキーをOFFにしたり、ACパワーアダプターを抜いた場合は、つづき再生は解除されます。

MP3/JPGメニューを使う

MP3またはJPEGファイルを含むディスクを挿入すると、再生が自動的に始まり、MP3/JPGメニュー画面が表示されます。



メニュー操作をするには、■ボタンを押して本機を停止状態にします。

フォルダーやファイルを選ぶ

停止中に↑/↓ボタンを押して、ファイルまたはフォルダーを選び、ENTERボタンを押す。

フォルダーを選んでENTERボタンを押すと、ファイル名が表示されます。

ファイルの表示モードを選ぶ

停止中に→/←ボタンを押して、「表示選択」を選び、ENTERボタンをくり返し押してモードを切り換える。

ENTERボタンを押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

- MP3のみ
- JPGのみ
- MP3とJPG

ファイルの再生モードを選ぶ

停止中に→/←/↓ボタンを押して、「再生モード」を選び、ENTERボタンをくり返し押してモードを切り換える。

ENTERボタンを押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ディスクリピート（ディスクの全曲をくり返す）

- ノーマル（通常再生）
- フォルダリピート（ディレクトリ内をくり返す）

→ トラックリピート（1曲をくり返す）

→ ランダム（順不同で再生する）

→ シャッフル（シャッフル再生する）

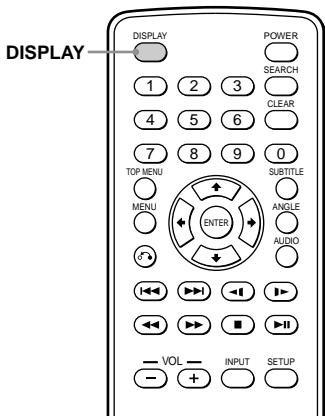
ご注意

- ・再生中はMP3/JPGメニュー操作でフォルダーやファイルを切り換えることはできません。◀◀/▶▶ボタンで、同じフォルダー内のファイルのみ切り換えることができます。フォルダーを切り換える場合は、再生を停止してください。
- ・MP3のフォルダ名やファイル名は、アルファベットと数字、記号のみ表示できます。それ以外の文字は、「DIR--001」「FILEOPEN--001」などに置き換わります。

経過時間を見る

DVD VCD CD

再生中のDVDやビデオCD、音楽用CDの経過時間や残り時間を見ることができます。

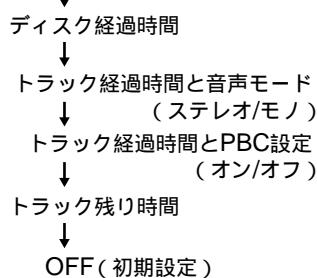


再生中にDISPLAYボタンを押す。

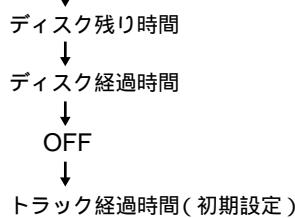
経過時間や残り時間が画面左上に表示されます。

DISPLAYボタンを押すごとに、以下のように表示が切り換わります。

• ビデオCD



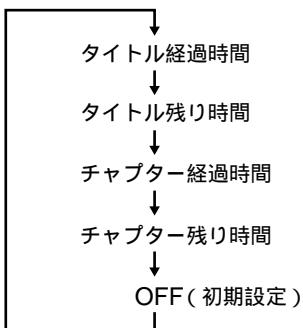
• 音楽用CD



表示を消すには

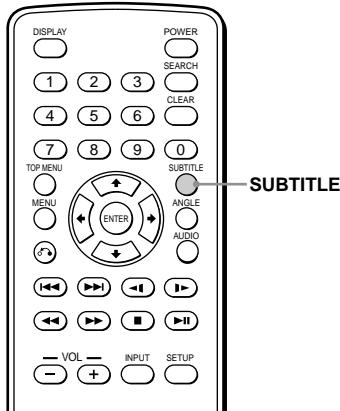
DISPLAYボタンを繰り返し押して「OFF」を選びます。

• DVD



字幕を表示する **DVD**

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり切り換えたりできます。語学の学習などに便利です。



再生中にSUBTITLEボタンを押す。

画面左上に字幕が表示されます。

例：日本語の字幕表示

 「1/3」は3言語中の
字幕日本語 1番目を示します。

SUBTITLEボタンを押すごとに、ディスクに記録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り換わります。

字幕表示を消すには

SUBTITLEボタンを繰り返し押して「オフ」を選びます。

ご注意

• 字幕言語は設定メニュー*でも切り換えられます。くわしくは「字幕言語を設定する」(29ページ)をご覧ください。

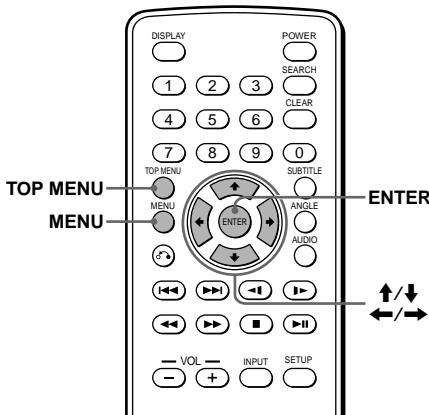
* 字幕言語がディスクと設定メニューの両方に記録されている場合のみ、設定メニューで切り換えられます。

また、ディスクによっては、設定に関わらず、最初に表示される言語が指定されている場合があります。

• ディスクによっては、字幕が記録されていても字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

DVDのメニューを使う

DVDには、トップメニュー、DVDメニューのようなDVD独自のメニューが記録されているディスクがあります。トップメニューを使って、お好みの曲や場面を選べます。また、DVDメニューを使って、再生したい項目や字幕言語、音声言語などを選べます。トップメニューとDVDメニューの内容はディスクによって異なります。ディスクによってはメニューが記録されていない場合もあります。



タイトルメニューを使う

DVDには、複数の映像や曲が記録されたディスクがあります。これらの映像や曲の大きな区切りをタイトルといいます。複数のタイトルがあるディスクを再生するときは、タイトルメニューで好きなタイトルを選べます。

- 1 再生中にTOP MENUボタンを押す。

トップ(タイトル)メニュー*が表示されます。

* トップメニューの内容はディスクによって異なります。

- 2 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンを押してタイトルを選ぶ。

- 3 ENTERボタンを押す。

選んだタイトルの再生が始まります。

DVDメニューを使う

DVDには、ディスクの内容をメニューで選べるディスクがあります。このようなディスクを再生するときは、再生したい項目や字幕言語、音声言語などをDVDメニューで選べます。

1 再生中にMENUボタンを押す。

DVDメニューが表示されます。

2 **↑/→/↓/←**ボタンを押して項目を選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

さらに画面が表示された場合は、手順2と3を繰り返してください。

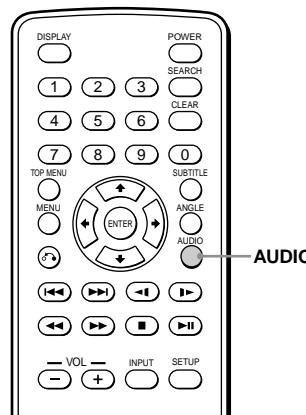
ご注意

- ディスクによっては、DVDメニューが記録されていないものもあります。また、タイトルメニューと同じ場合もあります。
- ディスクによっては、「DVD Menu」を「MENU」と表示するものもあります。
- ディスクによっては、手順3で「Press ENTER」を、「Press SELECT」と表示するものもあります。
- DVDのメニューはディスクによって異なります。
- 再生するディスクの説明書も合わせてお読みください。

音声言語を切り換える

DVD

複数の言語(マルチランゲージ)で音声が記録されているDVDでは、再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。



再生中にAUDIOボタンを繰り返し押して、言語を選ぶ。

画面上に音声言語が表示されます。

例：英語の音声言語表示



音声記録方式(Dolby D, DTS, LPCM)が表示される場合があります。

言語コード用の画面が表示されたときは、言語コード(47ページ)を入力してください。

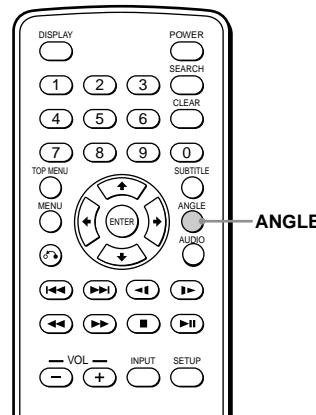
[次のページへつづく](#)

ご注意

- 複数の音声言語が記録されているディスクの場合のみ切り換えられます。
- DVDメニュー(22ページ)または設定メニュー*(27ページ)でも切り換えられます。
 - 音声言語がディスクと設定メニューの両方に記録されている場合のみ、設定メニューで切り換えられます。
 - また、ディスクによっては、設定に関わらず、最初に表示される言語が指定されている場合があります。
- ディスクによっては音声言語が複数記録されても、音声言語の切り換えを禁止している場合があります。

アンダルを切り換える **DVD**

DVDには、同じ場面が複数のアンダルで記録されているディスクがあります。「アンダル表示」を「オン」(30ページ)に設定すると、場面によって画面上部にアンダル表示が表示されます。



- 複数のアンダルで記録されている場面を再生中に、ANGLEボタンを押す。

画面右上にアンダル表示が表示されます。

- アンダル番号表示中に、ANGLEボタンを繰り返し押して、アンダル番号を選ぶ。

ANGLEボタンを押すごとに、アンダルとアンダル番号が切り換わります。



現在選ばれているアンダルの番号/記録されているアンダルの総数

ご注意

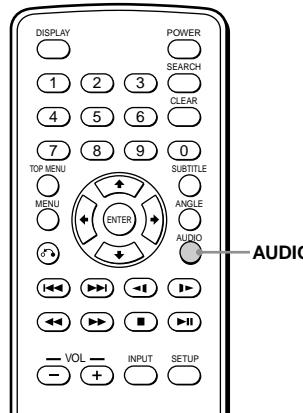
- 複数のアングルで記録されている場面でのみ切り換えられます。
- 記録されているアングルの総数はディスクや場面によって異なります。
- 通常再生中のみアングルを切り換えられます。早送り/早戻しなどをしているときに、アングルの切り換えはできません。
- アングル切り換えが可能な場面になると、自動的に手順2で選んだアングル番号のアングルに切り換わります。
- アングル機能はディスクによって異なります。

音声の出力方法を切り換える

VCD CD

ビデオCDまたは音楽用CDの再生中に、音声出力方法('STEREO'または'L-MONO/R-MONO')を選ぶことができます。

DVD/ビデオCD/音楽用CD



1 再生中にAUDIOボタンを押す。

画面上に出力方法が表示されます。

例:「L-MONO」の音声出力

L-MONO

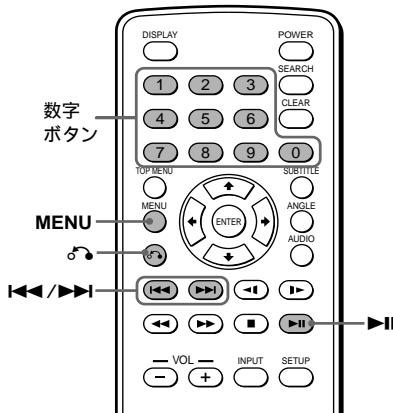
2 出力方法表示中にAUDIOボタンを繰り返し押して、出力方法を選ぶ。

AUDIOボタンを押すごとに、以下のように表示が切り換わります。

→ STEREO → L-MONO → R-MONO →

プレイバックコントロール機能を使う (PBC再生)

PBC対応ビデオCD再生中に、PBCメニューを使って再生や検索ができます。



1 ディスクを入れ、MENUボタンを繰り返し押して、「PBCオン」を選びます。

ディスクによってはPBCメニューが自動で表示されます。

MENUボタンを押すごとに「オン」と「オフ」が切り換わります。

2 >>IIボタンを押す。

PBCメニューが表示されます。

3 PBCメニューの操作をする。

数字ボタンを押して、行いたい(再生したい)項目の番号を選ぶ。

<</>>Iボタンを押して、前/次のページを表示する。

ディスクによってボタンの機能が異なります。

ご注意

- 再生中にPBCメニューを表示するには、MENUボタンを繰り返し押して「PBCオン」を選び、>>IIボタンを押します。
- 「PBCオン」で再生中に、<</>>Iボタンを押すと、PBCメニューを表示しなくてもシーンが切り換わります。
- 「PBCオン」で再生中に、○ボタンを押すとPBCメニューが表示され、>>マークが表示されます。
- ディスクによってPBCメニューは異なります。ディスクの説明書もあわせてお読みください。

設定メニューを使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕言語などの設定などもできます。本機を初めてお使いになるときに必要な設定もあります。

設定メニューは次の5つのメニューに分類されています。

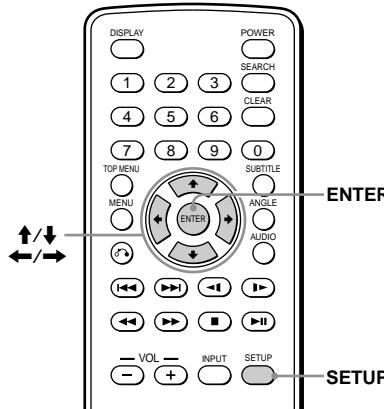
システムメニュー：システム全体の設定

DVD設定メニュー：DVD再生時の設定

スピーカーメニュー：スピーカー出力のダウンミックス設定

音声メニュー：音声のデジタル出力方式設定

ビデオメニュー：映像出力信号のカラー方式設定



モニターの設定については、「モニター部のメニューで設定する」(34ページ)をご覧ください。

システムを設定する (システムメニュー)

画面表示の言語を選ぶ(OSD言語)

本機を操作するときのメニュー表示などを日本語または英語に切り換えることができます。

- 1 SETUPボタンを押して、システムメニューを表示する。



- 2 ↑または↓を繰り返し押して「OSD言語」を選ぶ。
- 3 ←または→を繰り返し押して言語を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SETUPボタンを押して、システムメニューを終了する。

スクリーンセーバーを設定する(スクリーンセーバー)

「スクリーンセーバー」を「オン」に設定して、一時停止や停止したままで15分以上経過するとスクリーンセーバーの画面に切り換わります。画面の焼き付き(残像現象)を防ぐのに役立ちます。

-
- 1 SETUPボタンを押して、システムメニューを表示する。
 - 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「スクリーンセーバー」を選ぶ。
 - 3 **←**または**→**を繰り返し押して「オン」を選び、ENTERボタンを押す。
 - 4 SETUPボタンを押して、システムメニューを終了する。
-

スクリーンセーバーを解除するには手順3で「オフ」を選びます。

初期値に設定を戻す(初期化)

暗証番号(30ページ)と視聴制限の設定(31ページ)以外を、お買い上げ時の設定に戻します。

再生停止状態でのみ操作できます。

-
- 1 SETUPボタンを押して、システムメニューを表示する。
 - 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「初期化」を選び、ENTERボタンを押す。
 - 3 SETUPボタンを押して、システムメニューを終了する。
-

DVD再生時の設定をする(DVD設定メニュー)



音声言語を設定する(音声言語)

複数の言語(マルチランゲージ)で音声が記録されているディスクでは、音声の言語を選ぶことができます。

- 1 SETUPボタンを押し、**←**または**→**を繰り返し押して、DVD設定メニューを表示する。



- 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「音声言語」を選ぶ。

- 3 **←**または**→**を繰り返し押して言語を選び、ENTERボタンを押す。
「その他」を選んだときは、**↑**または**↓**で「言語コード」を選び、言語コード(47ページ)を入力してください。

- 4 SETUPボタンを押して、DVD設定メニューを終了する。

ご注意

- ディスクによっては、設定に関係なく他の言語が表示される場合があります。
- ディスクによっては音声言語が複数記録されても、音声言語の切り替えを禁止している場合があります。

字幕言語を設定する(字幕言語)

字幕が記録されているディスクでは、字幕の言語を選ぶことができます。

- 1 SETUPボタンを押し、**←**または**→**を繰り返し押して、DVD設定メニューを表示する。
- 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「字幕言語」を選ぶ。
- 3 **←**または**→**を繰り返し押して言語を選び、ENTERボタンを押す。
「その他」を選んだときは、**↑**または**↓**で「言語コード」を選び、言語コード(47ページ)を入力してください。
- 4 SETUPボタンを押して、DVD設定メニューを終了する。

ご注意

ディスクによっては、設定に関係なく他の言語が表示される場合があります。

テレビ画面を設定する(テレビスクリーン)

外部のテレビ画面などで楽しむとき、画面に合わせて、サイズを設定します。

- 1 SETUPボタンを押し、**←**または**→**を繰り返し押して、DVD設定メニューを表示する。
- 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「テレビスクリーン」を選ぶ。
- 3 **←**または**→**を繰り返し押して「4:3 PS」または「4:3 LB」、「16:9」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SETUPボタンを押して、DVD設定メニューを終了する。

アングルマークを表示する(アングルマーク)

DVDには、同じ場面が複数のアングルで記録されているディスクがあります。「アングルマーク」を「オン」に設定すると、場面によって画面上部にアングル表示が表示されます。

アングル情報が記録されているディスクは、アングルマークを表示することができます。

- 1 SETUPボタンを押し、**←**または**→**を繰り返し押して、DVD設定メニューを表示する。
- 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「アングルマーク」を選ぶ。

- 3 **←**または**→**を繰り返し押して「オン」を選び、ENTERボタンを押す。

- 4 SETUPボタンを押して、DVD設定メニューを終了する。

アングル表示を消すには手順3で「オフ」を選びます。

視聴制限を設定する(視聴制限)

DVDには、視聴制限機能が記録されているものがあります。本機で設定する制限レベルに応じて、視聴を制限できます。

この設定は次項の「暗証番号を設定する」でパスワードを入力したときのみ可能です。

- 1 SETUPボタンを押し、**←**または**→**を繰り返し押して、DVD設定メニューを表示する。
- 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「視聴制限」を選ぶ。
- 3 **←**または**→**を繰り返し押してレベルを選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SETUPボタンを押して、DVD設定メニューを終了する。

本機の視聴制限レベルは、MPAA(米国映画協会)の視聴規格に準拠しています。MPAA規格が本機のどのレベルに相当するかは以下の表をご覧ください。

たとえば、「4」に設定しておくと視聴制限レベルが「5」「6」「7」「8」のディスクは再生できません。

レベル	MPAA(米国映画協会)基準
8	制限なし(すべてのディスクが再生可能)
7	成人指定 / 18歳未満は視聴不可
6	17歳以下は成人同伴を除き視聴不可
5	—
4	13歳以下の子どもには不適切な内容が含まれている場合あり
3	子供向けではない内容が含まれている場合あり
2	—
1	一般 / 子供に不適切な表現なし

暗証番号を設定する(暗証番号)

初めてこの機能を使うときは、暗証番号と制限レベルを設定してください。

- 1 SETUPボタンを押し、またはを繰り返し押して、DVD設定メニューを表示する。
- 2 またはを繰り返し押して「暗証番号」を選ぶ。
- 3 数字ボタンで「5370」を入力する。
「新しい暗証番号」と表示が変り、新しい暗証番号を入力する状態になります。
- 4 数字ボタンで新しい暗証番号を入力する。
- 5 SETUPボタンを押して、DVD設定メニューを終了する。

ご注意

登録した暗証番号を忘れたときは、5370を入力してください。

スピーカー出力のダウンミックスを設定する(スピーカーメニュー)

ドルビーデジタルで記録されているDVDを、ステレオ(2チャンネル)に変換して再生するときに、ダウンミックスの設定を切り換えます。

ノーマル：ドルビーサラウンド(プロロジック)に対応していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ。

サラウンド：ドルビーサラウンド(プロロジック)対応のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

- 1 SETUPボタンを押し、**←**または**→**を繰り返し押して、スピーカーメニューを表示する。



- 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「ダウンミックス」を選ぶ。
- 3 **←**または**→**を繰り返し押して「ノーマル」または「サラウンド」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SETUPボタンを押して、スピーカーメニューを終了する。

音声のデジタル出力方式を設定する(音声メニュー)

光デジタル出力端子から出力される信号の方式を「ピットストリーム」または「LPCM 48K」から選べます。

- 1 SETUPボタンを押し、**←**または**→**を繰り返し押して、音声メニューを表示する。



- 2 **↑**または**↓**を繰り返し押して「デジタル出力」を選ぶ。
- 3 **←**または**→**を繰り返し押して「ピットストリーム」、「LPCM 48K」または「オフ」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 SETUPボタンを押して、音声メニューを終了する。

ご注意

- 「オフ」を選ぶと、光デジタル出力端子からは信号は出力されません。
- 光ケーブルを使用して音楽用CDからMDなどに録音すると、ひとつのトラックになります。

映像出力信号の カラー方式を設定する (ビデオメニュー)

外部のテレビなどに映像信号を出力するときのカラー方式を設定します。

この設定を変更しても、内蔵モニターの映像には関係ありません。

AUTO：DVDに記録された映像方式を検出し、NTSCとPALを切り換えます。

NTSC：常にNTSC信号を出力します。

PAL：常にPAL信号を出力します。

- 1** SETUPボタンを押し、**←**または**→**を繰り返し押して、ビデオメニューを表示する。



- 2** **↑**または**↓**を繰り返し押して「カラー方式」を選ぶ。
- 3** **←**または**→**を繰り返し押して「AUTO」または「NTSC」、「PAL」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4** SETUPボタンを押して、ビデオメニューを終了する。

外部機器からの映像 を見る

本機の映像入力端子に接続した外部機器からの映像を内蔵モニターで見るには、入力チャンネルを切り換える必要があります。

- 1** POWERボタンを押して、本機の電源を入れる。

約5秒間、現在の入力チャンネル(DVD)が表示されます。

- 2** 手順1の画面が表示されている状態でリモコンのINPUTボタンを押して、入力チャンネルを「VIDEO」に切り換える。

INPUTボタンを押すたびに、「DVD」と「VIDEO」が切り換わります。

本機に入れたディスクを再生するときは、「DVD」に戻します。

入力信号のカラー方式を切り換える

映像入力信号のカラー方式(NTSCまたはPAL)は、通常は自動的に入力信号に合わせて設定されます(オートモード)。カラー方式を手動で変更するには、次のように操作します。

1 POWERボタンを押して、本機の電源を入れる。

約5秒間、現在の入力チャンネル(DVD)が表示されます。

2 手順1の画面が表示されている状態で本体モニターのVOL +/- ボタン押して、「NTSC」または「PAL」を選ぶ。

ご注意

手動でカラー モードを切り換えた場合は、電源を切るか、入力チャンネルを切り換えるまでオートモードには戻りません。したがって、たとえばPALに設定した状態では、NTSC方式で記録されたDVDの映像はモニターに表示されなくなります。

モニター部のメニューで設定する

本機のモニター画面のコントラストや輝度などの調整やスクリーンモード、FMトランスマッターの周波数設定などは、モニター部のメニュー操作で行います。

本体のMENUボタンを押すと、ボタンを押すたびに設定画面が次のように切り換わります。

Picture(コントラスト調整)→Brightness(輝度調整)→Color(カラー調整)→Hue(色相調整: NTSCのみ)→Dimmer(ディマー設定)→Video Adjust(ビデオ調整のリセット)→Mode(スクリーンモード設定)→FM Transmitter(FMトランスマッターの設定)→Blue Back(ブルーバック設定)→Menu Off(メニューの終了)

ご注意

メニュー設定中も、リモコンのVOL +/- ボタンは音量調整ボタンとして働きます。

コントラストを調整する

1 本体のMENUボタンを押す。

Picture設定画面が表示されます。

Picture 
Press ↑ ↓ or MENU.

2 本体モニターのVOL +/- ボタンを繰り返し押して設定値を変更する。

0~63の範囲で設定できます。初期値は32です。

何も操作せず約5秒間経つと、メニュー画面が消えます。

輝度を調整する

- 1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、Brightness設定画面にする。
- 2 本体モニターのVOL + / - ボタンを繰り返し押して設定値を変更する。
0~63の範囲で設定できます。初期値は30です。
何も操作せず約5秒間経つと、メニュー画面が消えます。

カラーを調整する

- 1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、Color設定画面にする。
- 2 本体モニターのVOL + / - ボタンを繰り返し押して設定値を変更する。
0~63の範囲で設定できます。初期値は32です。
何も操作せず約5秒間経つと、メニュー画面が消えます。

色相を調整する(NTSCのみ)

- 1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、Hue設定画面にする。
- 2 本体モニターのVOL + / - ボタンを繰り返し押して色相を調整する。
初期位置は「CTR」です。
何も操作せず約5秒間経つと、メニュー画面が消えます。

ディマー機能を設定する

- 1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、Dimmer設定画面にする。
- 2 本体モニターのVOL + / - ボタンを押してOn/Offを切り換える。
初期設定は「Off」です。
何も操作せず約5秒間経つと、メニュー画面が消えます。

調整内容をリセットする

Picture、Brightness、Color、Hue、Dimmerの設定内容を初期設定に戻します。

- 1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、Video Adjust設定画面にする。
- 2 本体モニターのVOL + / - ボタンを押してリセットを実行する。
何も操作せず約5秒間経つと、メニュー画面が消えます。

ご注意

Video Adjustを実行しても、入力チャンネル、入力信号のカラー方式(NTSC/PAL)、スクリーンモードの設定は変更されません。

スクリーンモードを設定する

本機のスクリーンモードは、次の4種類から選ぶことができます。

- Normal : 画面比率4:3の通常画面。
Full : 4:3の画面を左右方向に、モニター幅一杯まで広げる。
Zoom : 4:3の画面を上下左右方向に、モニター幅一杯まで広げる。
Wide : 画面比率16:9で表示する。

- 1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、Mode設定画面にする。
- 2 本体モニターのVOL + / - を繰り返し押して、スクリーンモードを切り換える。

初期設定は「Full」です。

何も操作せず約5秒間経つと、メニュー画面が消えます。

FMトランシッターを設定する

車内で本機を使用するとき、音声をFMラジオに受信させ、カーステレオで聞くことができます。

FMトランシッター機能のOn/Offと、周波数を設定します。

- 1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、FM Transmitter設定画面にする。
 - 2 本体モニターのVOL + / - ボタンを押してOn/Offを切り換える。
- 初期設定は「On」です。

- 3 周波数を設定するには、本体のREVERSEボタンを押す。

周波数設定画面になります。

- 4 本体モニターのVOL + / - ボタンを押して周波数を切り換える。
76.5MHz～79.5MHzの範囲を0.1MHzステップで設定できます。
- 5 本体のREVERSEボタン押してFM Transmitter設定画面に戻る。
何も操作せず約5秒間経つと、メニュー画面が消えます。

ご注意

- ヘッドホンを本機に接続しているときは、「On」を選んでも、この機能は働きません。
- 本機を設置する場所によっては、FM信号が届かず、音声が途切れことがあります。その場合は、FMトランシッター用アンテナの位置を調整するか、カーステレオの受信アンテナを近づけてください。
- 一般的FM放送局の電波の影響で雑音が混じる場合は、FMトランシッターの周波数を変更してください。
- FMトランシッターが「Off」に設定されている場合は、周波数の変更はできません。

ブルーバックを設定する

映像信号を入力していないとき、モニター画面の背景をブルーにするかどうかを設定します。

1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、Blue Back設定画面にする。

2 本体モニターのVOL + / - ボタンを押してOn/Offを切り換える。

初期設定は「Off」です。

何も操作せず約5秒間待っても、メニュー画面は消えます。

メニューを終了する

1 本体のMENUボタンを繰り返し押して、Menu Off設定画面にする。

2 もう一度MENUボタンを押す。

メニュー設定画面が消えます。

何も操作せず約5秒間待っても、メニュー画面は消えます。

画像の上下を反転させる

本体を立てて使用するときなどのために、画像を反転させることができます。画像を反転させると、音声出力の左右チャンネルも逆になります。

1 本体のREVERSEボタンを押す。

画像が反転し、約5秒間「Reverse On」と表示されます。

2 元の画像に戻すには、もう一度REVERSEボタンを押す。

約5秒間「Reverse Off」と表示されます。

音量の基準値を設定する

本体およびリモコンのVOL + / - ボタンで音量を調整するときの、基準になる値を設定します。

1 POWERボタンを押し、メニューが表示されていない状態で、本体モニターのVOL + / - ボタンを押す。

0 ~ 47の範囲で設定できます。初期設定値は「10」です。

ボタンを押し続けると、連続して変化します。

使用上のご注意

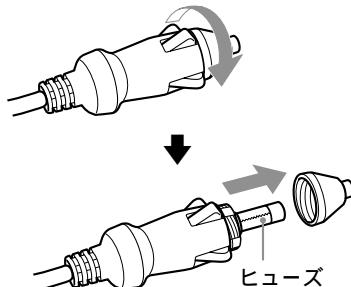
本機の取り扱い

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、DVDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、DVDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

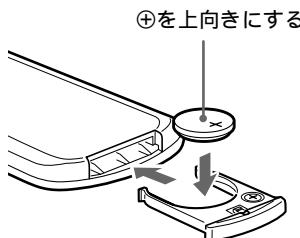
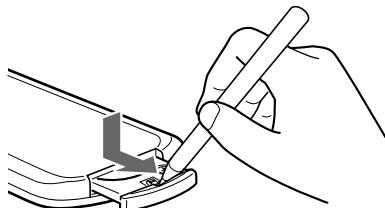
車内で使用するときのご注意

エンジンを止めた状態（ACCポジション）で本機を使用すると、バッテリーあがりの原因になります。

リモコンの取り扱い

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の \oplus と \ominus を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もします（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

カードリモコンについてのご注意

- ・ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- ・直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようないときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

ディスクの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れない
ように持つ



ディスクに紙などを
貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- ・中古やレンタルディスクでシールなどのりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。また、ラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- ・レンタルディスクでシールなどがめくれているもの。
- ・お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。

[次のページへつづく](#)

ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。

高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音とびがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

保存

ディスクケースに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。

特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

再生する前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。

ベンジン、アナログ式コード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



MP3について

MP3(MPEG1 Audio Layer3の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮します。

人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

MP3 推奨フォーマット

サンプリング周波数(Hz) 32k、44.1k、48k

ビットレート(bps) 128k

ディスクについてのご注意

本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R(レコータブル) CD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet準拠でフォーマットされたものが再生可能です。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：ファイル名は8.3形式(名前は半角英文大文字と半角数字、"_"で8文字以下、拡張子は3文字)

フォルダーは名前が8文字以下で、階層は8つ以下。

レベル2：ファイル名は最大半角31文字(区切り文字、"_"と拡張子を含む)、フォルダーは名前が半角31文字以下で、階層は8つ以下。

拡張フォーマット

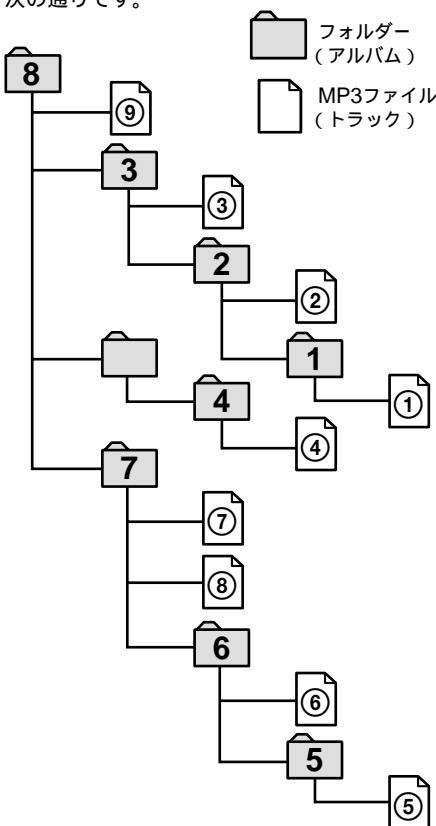
Joliet：ファイル名、フォルダー名は最大で64文字。

ご注意

- ・ファイル名、フォルダーナーはISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ・ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.MP3」を付けてください。
- ・MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- ・次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。
多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
セッションの追加が可能なディスク
- ・320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



第1階層 第2階層 第3階層 第4階層 第5階層
(ルート)

ちょっと一言

同一階層内のフォルダーやファイルはライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるため、フォルダーナー・ファイル名のはじめに数字(01、02など)をつけることで再生順序を指定できることがあります。

あなたが[放送やレコード、録音物、録画物、実演などを]録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">ACパワーアダプターやシガーライター用電源コード接続を確認する。シガーライター用電源コードを使用している場合は、ヒューズを確認する。 →ヒューズが切れている場合は、規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。ヒューズが再び切れたときは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。本機の温度が上がった。 →本機の電源を切ってください。本機の温度が下がるまで待ち、もう一度電源を入れてください。
共通	<ul style="list-style-type: none">すでに別のディスクが入っている。ディスクを誤った向きに入れようとしている。
MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none">ISO9660レベル1、レベル2、Jolietに準拠して記録されていない。拡張子に「.MP3」がついていない。ファイルがMP3形式ではない。
DVD/WCD/CD	<p>MP3ファイルの再生が始まるまで、他の音楽データより時間がかかる。</p> <p>次のようなディスクは再生が始まるのに時間がかかります。 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクセッションの追加が可能なディスク</p>
一時停止など再生機能が動作しない。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。ディスクが取り出された。
音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none">ディスクに汚れや傷がある。振動の多い場所に設置されている。

症状	原因・処置
映像	映像が出ない。 <ul style="list-style-type: none"> DVD再生時、手動でカラー モード(NTSC/PAL)を切り換えた。 →DVDのカラー モードに合わせる。または、一度電源を切るか、入力チャンネルを切り換える。 映像/音声入力端子に接続したビデオ デッキなどの接続を確認する。 外部のテレビなどの映像が出ないときは、映像/音声出力端子に接続したテレビなどの接続を確認する。
	映像が乱れる。 <ul style="list-style-type: none"> ディスクに汚れや傷がある。 振動の多い場所に設置されている。
操作	リモコンが効かない。 <ul style="list-style-type: none"> リモコンと本体(またはリモコンセンサー)の間にある障害物を取り除く。 リモコンをリモコン受光部に近づけて操作する。 リモコン受光部にリモコンの発光部を向ける。 リモコンの電池が消耗していたら、電池を交換する。
	再生がディスクの最初から始まらない。 <ul style="list-style-type: none"> つづき再生になっている。 →■ボタンをもう一度押すか、ディスクを取り出してください。 DVDによって、トップメニューまたはDVDメニューが再生中に自動で表示されることがある。 →お好みのメニューを選んでください(22ページ)。 ビデオCDによって、PBCメニューが再生中に自動で表示されることがある。 →お好みのメニューを選んでください(26ページ)。
自動的に再生が止まる。	オートポーズ信号が記録されているディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。
停止や、サーチなどの操作ができない。	操作を禁止しているディスクを再生している。

[次のページへつづく](#)

症状		原因・処置
	音声言語を変更できない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 音声言語の切り替えを禁止しているDVDを再生している。
	字幕言語を変更できない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生しているDVDに複数の字幕言語が記録されていない。 字幕言語の変更を禁止しているDVDを再生している。
操作	字幕を消せない。	字幕を消すことを禁止しているDVDを再生している。
操作	アングルを変更して見ることができない。	<ul style="list-style-type: none"> 複数のアングルが記録された場面で変更してください(24ページ)。 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。
	本機が正しく動作しない。	<p>静電気などの影響で正しく動作しない場合がある。 →本機の電源を切ってください。本機の温度が下がるまで待ち、もう一度電源を入れてください。</p>

エラー表示について

エラー表示	原因	処置
POWER OFF OVERHEAT	本機の温度が上がった。	本機の温度が下がるまで待ち、もう一度電源を入れてください。
REGION ERROR	DVDの地域番号が本機に対応していない。	DVDと本機の地域番号を確認してください。
DISC ERROR	ディスクに記録されたデータが破損している。 本機で再生できないフォーマットのデータが記録されている。	操作できません。



操作できません。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

システム

形式	CD/DVDプレーヤー
信号方式	JEITA標準、NTSC/PALカラーフォーマット

音声特性

周波数特性	20Hz～20kHz*
信号対雑音比(S/N比)	90dB*
全高調波ひずみ率	0.03%*
ダイナミックレンジ	90dB*
ワウ・フランジャー	測定限界(±0.001% W PEAK)以下*

* JEITA(電子情報技術産業協会)の規格による測定値です。

電源部、その他

出力端子	映像出力端子 音声出力端子 光デジタル出力端子 ヘッドホン端子
入力端子	映像入力端子 音声入力端子
電源	DC 12V入力端子
本体寸法	DC 12V(マイナスアース) 約188×99×241mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約2.3kg

付属品

取り付け用ベルト(4)
ACパワーアダプター(1)
(ACコード(1)含む)
シガーライター用電源コード(1)
FMトランスミッター用アンテナコード(1)
カードリモコン RM-X137(1)
(リチウム電池(1)を含む)
キャリングバッグ(1)
取扱説明書(一式)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

モニター部

システム	カラー液晶ディスプレイ
ディスプレイ	マニュアルフリップダウンシステム
駆動システム	TFT-LCDアクティブマトリクスシステム
画面サイズ	6.5インチワイド画面(16:9)
解像度	280,800(W1200×H234)ドット

ご注意

本機には、別売りのソニーバス対応デジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

言語コード一覧表

詳しくは23、29ページをご覧ください。

言語名表記はISO639:1988(E/F)に準拠

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
6565	Afar	7089	Frisian	7686	Latvian	8376	Slovenian
6566	Abkhazian	7165	Irish		Lettish	8377	Samoan
6570	Afrikaans	7168	Scots/	7771	Malagasy	8378	Shona
6577	Amharic		Gaelic	7773	Maori	8379	Somali
6582	Arabic	7176	Galician	7775	Macedonian	8381	Albanian
6583	Assamese	7178	Guarani	7776	Malayalam	8382	Serbian
6588	Aymara	7185	Gujarati	7778	Mongolian	8385	Sundanese
6590	Azerbaijani	7265	Hausa	7779	Moldavian	8386	Swedish
6665	Bashkir	7273	Hindi	7782	Marathi	8387	Swahili
6669	Byelorussian	7282	Croatian	7783	Malay	8465	Tamil
6671	Bulgarian	7285	Hungarian	7784	Maltese	8469	Tegule
6672	Bislama	7289	Armenian	7789	Burmese	8471	Tajik
6678	Bengali	7365	Interlingua	7865	Nauru	8472	Thai
6679	Tibetan	7378	Indonesian	7869	Nepali	8473	Tigrinya
6682	Breton	7383	Icelandic	7876	Dutch	8475	Turkmen
6765	Catalan	7384	Italian	7879	Norwegian	8476	Tagalog
6779	Corsican	7387	Hebrew	7982	Oriya	8479	Tonga
6783	Czech	7465	Japanese	8065	Punjabi	8482	Turkish
6789	Welsh	7473	Yiddish	8076	Polish	8484	Tatar
6865	Danish	7487	Javanese	8083	Pushto/	8487	Twi
6869	German	7565	Georgian		Pashto	8575	Ukrainian
6890	Bhutani	7575	Kazakh	8084	Portuguese	8582	Urdu
6976	Greek	7576	Greenlandic	8185	Quechua	8590	Uzbek
6978	English	7577	Cambodian	8277	Raeto-	8673	Vietnamese
6979	Esperanto	7578	Kannada		Romance	8679	Volapük
6983	Spanish	7579	Korean	8279	Romanian	8779	Wolof
6984	Estonian	7583	Kashmiri	8285	Russian	8872	Xhosa
6985	Basque	7585	Kurdish	8365	Kinyarwanda	8979	Yoruba
7065	Persian	7589	Kirghiz	8368	Sanskrit	9072	Chinese
7073	Finnish	7665	Latin	8372	Serbo-	9085	Zulu
7074	Fijian	7678	Lingala		Croatian		
7079	Faroese	7679	Laotian	8373	Sinhalese		
7082	French	7684	Lithuanian	8375	Slovak		

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル* 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は* 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1 : 修理受付
- 2 : 使用方法や故障と思われるご相談
- 3 : お買物相談
- 4 : 業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5 : その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35